

2012 年度 メディア情報学実験 I ガイダンス資料

1. 実験の進め方

メディア情報学実験 I は, 「CG」「情報検索」「自然言語処理」の 3 つのテーマについてグループに分かれて行う。各テーマの実験の進め方は, それぞれの実験のガイダンス資料を参照のこと。

2. スケジュール

A・B・C グループ(水曜日)

グループ	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	1/9	1/16
A	情報検索					CG					自然言語処理				
B	CG					自然言語処理					情報検索				
C	自然言語処理					情報検索					CG				

3. 使用実験室

情報検索 コラーニングハウス I 3 階 情報処理演習室 C31
CG クリエーションコア 5 階 メディア情報学実験室 2
自然言語処理 クリエーションコア 5 階 メディア情報学実験室 1

4. 担当教員

情報検索 前田 亮
CG 長谷川 恭子(10/24 まで), 木村 朝子(10/31 以降)
自然言語処理 西原 陽子(11/28 まで), 福本 淳一(12/5 以降)

5. 実験の心得

1. 実験中, 各演習室に飲食物を持ち込まない。
2. 実験中は私語を慎み, 他のグループ等へ勝手に移動しない。
3. 他人のファイルや出力を見ない。
4. 端末使用後は必ずシャットダウンし, USB メモリ等を取り出してから退室する。
5. プリントアウトした場合, 必ず自分で持ち帰る。
6. 実験中に別のことをしない。(他の実験のレポート, 必要以外のメールの送受信, ホームページの閲覧など)
7. 担当教員や助手の説明があるときは, 作業を中断し, 説明に集中する。
8. 各テーマについて, 実験当日までに十分予習しておく。
9. わからなかった所は必ず復習する。

6. 評価方法

単位認定のための前提条件は、次の2つの条件を満たすことである。

1. 各テーマについて、出席すべき授業日数の4/5以上出席すること。また、5回(週)ある各テーマについて、2回を超える欠席で実験全体が不可となる。
2. 各テーマのレポートを全て提出、受理されること。

1. については、15分以内の遅刻および終了15分前以降の早退は1/3欠席、実験時間の半分(90分)までの遅刻、早退は2/3欠席として扱い、それ以外の場合は、一部出席しても欠席扱いとする。また、2. における受理は単なる提出とは異なり、該当する実験課題における知識、技術および考え方を習得したと判断されるような実験報告書に対して担当教員が出す「認め」である。これらの条件を満たしている場合、以下の点を考慮して成績をつける。

- ・ レポート 課題の達成度とレポートの質と提出の遅れ具合等
- ・ 日常点 出席と実験態度等の日常点

各3テーマのレポート、日常点の合計により評価する。ただし、合格最低点である60点に満たないテーマがある場合には不合格となる。

7. レポートの提出に関する注意事項

1. レポートは各テーマ終了後、各テーマごとに指定された提出期限までに、プリズムハウス1階の「学びステーション」レポート提出窓口に提出する。レポートの遅延は程度に応じて減点する。但し、各テーマのレポート提出締切り日から1週間後以降の提出は受け付けない。
2. 他人のレポートのコピー、一部改訂したものは、レポートとして受け付けない。これらの行為が判明した場合、試験中の「カンニング」として扱う。(後期全登録科目を不可とする)
3. レポートの内容が一定の水準に達していないと認められた場合、個別指導を行い、再提出を求める。この場合の期限は、個別に担当教員の指示に従う。再提出しなかった場合、レポート未提出として扱うので注意すること。

8. 連絡方法

実験に関する連絡事項は、原則として、プリズムハウス1階の「学びステーション」の掲示板に掲示する。科目履修上の重要事項も掲示されることがあるので、見落とすことがないように注意すること。なお、実験によって連絡方法が変わる場合がある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。

以上